

令和6年度 二国間クレジット制度（JCM）の更なる促進に向けたセミナー

（全2回）

経済産業省は、2024年10月17日（木）に「令和6年度 二国間クレジット制度（JCM）の更なる促進に向けたセミナー」を開催します。本セミナーは、令和6年度に全2回の開催を予定しており、今回は第1回の開催となります。

背景

我が国は、途上国への温室効果ガス削減技術、製品、システム、サービス、インフラ等の普及や対策実施を通じ、実現した温室効果ガス排出削減・吸収への日本国の貢献を定量的に評価するとともに、日本国の削減目標の達成に活用するため JCM を構築・実施しています。地球温暖化対策計画（令和3年10月22日閣議決定）において「途上国等への優れた脱炭素技術、製品、システム、サービス、インフラ等の普及や対策実施を通じ、実現した温室効果ガス排出削減・吸収への我が国の貢献を定量的に評価するとともに、我が国の NDC の達成に活用するため、JCM を構築・実施していく。これにより、官民連携で 2030 年度までの累積で、1 億 t-CO₂ 程度の国際的な排出削減・吸収量の確保を目標とする。」等、政府全体として JCM を推進しており、2024 年 9 月末時点で 29 か国と JCM を構築しております。

本セミナーの目的

本セミナーの目的は次の通りです。

- ・ これまで以上に多くの事業者に対して JCM に対する理解を促進し、幅広く政府支援メニューを周知することで関心を高め、JCM 事業化を検討いただく機会を提供する。
- ・ JCM 実現可能性調査（JCMFS）について、具体事例や活用方法を紹介することで、JCM FS への理解を促進する。

本セミナーの対象者

本セミナーで想定する対象者は次の通りです。

- ・ JCM は聞いたことがあるが具体的には知らない
- ・ 政府全体での JCM 実施支援メニューや JCM のプロセス等が良くわからない
- ・ JCM を活用して海外（主に開発途上国）での脱・低炭素化技術の展開に関心がある

セミナー終了後にはネットワーキングの時間を設けており、政府の支援メニュー等についてご相談もお受けいたします。

概要

- ・ 日時：2024年10月17日（木）13:30-16:30（13:10 開場）
- ・ 場所：日比谷国際ビルコンファレンススクエア 8E <<https://hibikoku.tokyo/access/>>
- ・ 形式：会場 50 名、オンライン（Zoom）最大 500 名のハイブリッド形式
- ・ 主催：経済産業省
- ・ 事務局：パシフィックコンサルタンツ株式会社

アジェンダ・お申し込み方法

お申込み：<https://forms.office.com/r/wEi5cXHTmQ>

***会場申込が先着 50 名に達した後はオンラインでの参加をお願いさせていただきます。**

◆申込みいただいた際に収集した個人情報は、本セミナーに関する事務連絡及び JCM 関連情報の案内送付にのみ使用し、他の目的には一切使用しません。

アジェンダ

時間	内容	発表者
13:30-13:35	開会挨拶	経済産業省 イノベーション・環境局 GX グループ 地球環境対策室 地球環境問題交渉官 木村 範尋
セッション 1 JCM 制度の概要と政府支援内容の紹介		
13:35-13:50	JCM の最新動向と経済産業省による 支援メニューの紹介	経済産業省 イノベーション・環境局 GX グループ 地球環境対策室 室長補佐 (JCM 担当) 三井 博行
13:50-14:00	JCM 設備補助事業の取組	環境省 地球環境局 国際脱炭素移行推進・環 境インフラ担当参事官付 JCM 推進室 JCM 推 進企画官 百瀬 嘉則
14:00-14:10	JCM における農業分野の取組	農林水産省 大臣官房 みどりの食料システム戦 略グループ 環境企画官 大島 立大
14:10-14:15	質疑応答	
セッション 2 JCM 制度関連の基本説明と課題の共有		
14:15-14:30	クレジット制度全般と 民間 JCM プロジェクトについて	経済産業省 イノベーション・環境局 GX グループ 地球環境対策室 係長 酒井 拓水
14:30-14:50	JCM 制度の詳細説明	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング 政策研究事 業本部 地球環境部 上席主任研究員 邊見 達志
14:50-15:00	質疑応答	
15:00-15:10	休憩	
セッション 3 JCM FS 事例紹介		
15:10-16:05	事例紹介①	旭化成株式会社 ライフイノベーション事業本部 サステナビリティ推進部 部長 丸山 睦弘
	事例紹介②	イーレックス株式会社 経営企画部 経営企画課 環境担当 主任 横山 万葉
	事例紹介③	株式会社 SDG インパクトジャパン マネージングパ ートナー 栗田 永幸 株式会社トーヨーエネルギーソリューション プロジェ クト開発部長 石坂 浩一
	ディスカッションおよび質疑応答	(モデレータ) 経済産業省 イノベーション・環境局 GX グループ 地球環境対策室 係長 中山 雄一郎
閉会		
16:05-16:10	閉会挨拶 次回告知	経済産業省 木村 範尋
ネットワーキング		
16:10-		

※アジェンダは変更される可能性があります。